

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

臨床データと分子動力学を用いたワルファリンとセレコキシブの相互作用機序の解明

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院薬剤部

松山大学薬学部

【研究責任者】 田中 守 (薬剤部長・准教授)

【研究目的・意義】

ワルファリンは血液を固まりにくくするお薬ですが、他の薬と併用することで効果が高くなる、あるいは低くなることがあり、特に、効果が高くなり過ぎてしまった場合には出血等を起こす可能性があるため、プロトロンビン時間国際標準比 (PT-INR) を測りながら量を調整しています。

解熱鎮痛消炎剤のセレコキシブはワルファリンを代謝する酵素の働きを抑えることが知られており、これらの併用によってワルファリンの体の中の濃度が上昇し、効果が高くなり過ぎて出血等の副作用が出やすくなる可能性があります。私たちはこれまでの研究において、ワルファリンと解熱鎮痛消炎剤との併用により PT-INR は延長するものの、出血に及ぼす影響は少ない傾向があるということを確認していますが、代謝する酵素に関する詳細な検討まで十分にできていません。

そこで、代謝する酵素による影響に注目し、ワルファリンとセレコキシブまたはロキソプロフェンについて代謝する酵素の結合様式をシミュレーションし、出血などの副作用との関連をより詳細に検討することを目的としています。

【調査の対象となる患者さん】

2016年4月1日から2021年3月31日の間に、ワルファリンを継続して服用中にセレコキシブまたはロキソプロフェンが追加となった患者さんを対象としています。

【研究方法】

調査の対象となる患者さんについて、電子カルテより調査を行います。

【調査項目】

年齢、性別、身長、体重、体格指数（BMI：body mass index）、出血傾向の有無、ワルファリン投与量及び投与日数、併用薬、血圧、PT-INR 値、ALB 値、Ca 値、AST、ALT、血清 Cr 値、eGFR 値

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 高田裕介

【研究実施体制】

研究機関：愛媛大学医学部附属病院薬剤部

松山大学薬学部

研究責任者：薬剤部長・准教授 田中 守

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5730

研究分担者：副薬剤部長 高田 裕介

副薬剤部長 飛鷹 範明

薬剤師 宮下 智尋

松山大学薬学部 准教授 畑 晶之

松山大学薬学部 矢形 友里

松山大学薬学部 准教授 渡邊 真一

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 高田裕介

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5732